



みやぎ

- 27号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院  
 発行責任者 清野 仁  
 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地  
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316  
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●●

良い医療を安全に、心を込めて

新年のご挨拶



院長 清野 仁

新年明けましておめでとうございます。皆様には清々しい、希望に満ちた新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

この一年は、私にとりましては、院長に就任してのあつという間の一年でした。仮免許の状態にも拘わらず、大きなトラブルも無く、経営的にも順調に経過できたように思います。これもひとえに職員一人一人が高いモチベーションとActivityをもって各々の業務に従事してくれたこと、そして、地域住民の方々や連携いただいている診療所、病院の支えがあったることと、この誌面を借りて改めて感謝を申し上げる次第です。

さて、去年は、世の中には暗いニュースが多い中、宮城病院にとっては、明るい、嬉しい出来事の多い年となりました。

第一番にはやはり、大幅に遅れていた新病棟の建設が1月に着工し、11月に竣工、12月4日(土)に開棟式を迎えることができたことかと思えます。新病棟は、中央病棟と命名し、従来のa, b病棟はそれぞれ南病棟a, bと呼ぶことといたしました。新病棟は各フロアー60床の4階建てで、計240床となり、南a病棟の16床の増床分も合わせ、宮城病院は344床の病院となりました。機能的には従来からの診療を継続し、神経難病医療や地域医療のさらなる充実を目指したいと考えております。

その他にも幾つか上げてみますと、3月には、リース宿舎(ベルジュ3号館)が完成し、また21年度決算で単年度では最大の黒字幅となり、法人移行後初めての年度末賞与が支給されました。QCサークル活動では、活動開始2年目にして、あすなる3病棟の「衣料仕分け」が22年度機構本部奨励表彰で「ブロック優秀賞」を受賞し、11月に本部で矢崎理事長より表彰を受けたこともうれしいニュースでした。さらに、12月になり、平成21年度の機構本部による病院評価で「AA」評価を取得、全国144病院中でも上位にランクされました。これは、病院経営のみならず、診療や研究などに対するもので、病院としてのActivityが数字に、評価に表れたものであり、職員全員の努力、がんばりの成果でした。

今年は、11月に病院機能評価Ver.6を受審する予定です。当院としては初めての受審であり、職種を越えて全ての職場に関わる作業となりますが、全員一丸となり、是非合格を勝ち取りたいと思います。また新病棟への移転に伴い、既に旧病棟の解体撤去作業も始まっています。次なるステップは、この跡地に老朽化した外来管理棟及び治療棟を建設することです。これらの新たな展開へ向けて、職員全員が夢を共有し、兎年ではありますが、亀の歩みの如く地道に、着実に歩を進めていければと思います。

本年度も当院の基本理念である“安全で心を込めた良い医療”を实践すべく「健全でゆとりのある経営の強化」を最重要の努力目標として掲げて行きたいと考えております。

本年も宜しくお願いたします。

## 新病棟（中央病棟）開棟記念式典を挙行



去る12月4日（土）に新病棟の開棟記念式典を挙行了しました。当日は東北新幹線「八戸・新青森間」の営業開始日と重なり、東北地方にとっても当院にとっても記念すべき日となりました。強風により新幹線と在来線の一部では運転を見合わせたため、数名のご来賓がご来場できなくなるというアクシデントもありましたが、記念式典は山元町の齋藤町長をはじめ日頃から当院の運営にご協力いただいている地域の方々や国立病院機構関係者ならびに工事関係者などにご参列いただき、滞りなく行われました。

式典に続き、新病棟1階のエレベーターホールでテープカット式を行い、新病棟4階で内覧会を行いました。内覧会にはご招待客のほか、地域住民、入院中の患者さまやそのご家族など、約200名のご来場があり、明るく広くなった病室や最新の入浴設備などをご覧いただきました。会場内では案内役の職員に熱心に質問する方々の姿もあり、地域の皆さんが宮城病院に寄せる期待の大きさが感じられました。ご来場の方々には、内覧会の会場に設置した工事写真や喫茶コーナーも好評でしたが、4階から見える海や周囲の景色も楽しんでいただけたようで、病院関係者にとっても思い出に残る日となりました。

（企画課長 豊島 正志）



地域連携室は文字通りには地域の医療機関や様々な関連施設、行政機関等との連携を図り、患者さんの入退院を円滑に進めるなどを主な業務とする部署ということになりますが、実際には患者さん・御家族の多岐にわたる御相談に対応するなど、相談室・患者支援室の側面を併せ持っています。

初診の患者さんの受け入れ業務に始まり、入院された患者さんには入院早期から関わって、病棟を移って頂く際にはその円滑化も図り、退院後に在宅療養をされる場合にはその準備の支援にあたり、退院後も外来などを通してケアを続け、各種書類を整え、転院や施設入所の場合もその段取りを図るなど、期待される業務は果てしなく広がります。

この業務には多くの職員が関わっていますが、専任のいわゆるメディカル・ソーシャル・ワーカー（MSW）としては福祉職員3名が携わってきました（1名は臨床研究部所属）。昨年12月には満を持して看護師長1名が専任として加わり、今年は大きなステップを踏み出そうとしています。新病棟開棟を受けて、地域連携室のバージョン・アップが次の当院の推進力の1つになれるように努めていきたいと思しますので、皆様の御支援・御協力を宜しくお願い致します。

（副院長・地域医療連携室長 久永欣哉）



紹介医療機関 （12月末日現在） ご紹介ありがとうございます。

- ・松村クリニック(68件)
- ・平田外科医院(43件)
- ・仙台厚生病院(31件)
- ・三浦クリニック(31件)
- ・南東北病院(28件)
- ・公立相馬総合病院(53件)
- ・相馬中央病院(39件)
- ・浜吉田駅前内科(31件)
- ・東北大学病院(30件)
- ・広南病院(26件)

上位10医療機関のほか、県内外177医療機関からご紹介いただいております。

# 診療案内

平成23年1月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
			米地 稔	米地 稔	米地 稔	米地 稔
						仙台医療センター医師
神経内科	新患	久永 欣哉	清水 洋	大隅 悦子	松本 有史	伊藤 博明
	再来	今井 尚志	今井 尚志	久永 欣哉	久永 欣哉	清水 洋
		平岡 宏太良 (高次脳機能障害)	伊藤 博明	松本 有史		
呼吸器科			芦野 有悟			
消化器科				県立がんセンター (13:30~15:30)		
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
整形外科						県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科						澤村 武 東 秀子 隔週交代 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科	新患				大隅 悦子 (14:00~15:00)	
	再来	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐
放射線科(画像診断)				齋藤 美穂子		
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	久永 欣哉	清水 洋	大隅 悦子	松本 有史	伊藤 博明
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来	平岡 宏太良				
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	久永 欣哉	清水 洋	大隅 悦子	松本 有史	伊藤 博明

## 受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承願います。

## 交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から

JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

